

●三位一体後第七主日

泉のほとり

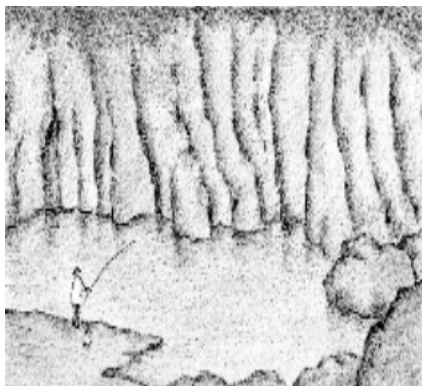
天国を生きる人々

今月の詩編「第三六編」

悪事を働く者は必ず倒れる。

彼らは打ち倒され

再び立ち上がることはない。



天国は人が死んでから行くところではありません。「神の王国」つまり、神さまが王として支配されるところです。

国には国民と法律の基本となる憲法があります。天国の憲法は十戒と、神を愛し隣人を愛する戒めです。それに従って生きる人々が、天国の国民です。

その人々の生き方を示しているのが、主イエスがなさったぶどう園の主人の譬えです。ぶどうの収穫のために、朝早く広場に行き、一日一デナリオンで労働者を雇います。九時、一二時、三時、五時にも「ふさわしい賃金を払おう」と約束して人を雇います。そして夕方、最後の者たちから順に、全員に一デナリオンを払ったので、朝から働いた者が不平を言ったのです。

この不平は当然だと、わたしたちは思います。一日働いた者と一時間の者に同額の賃金を払うことはこの世ではあり得ません。しかし主人は、自分は約束を守っていると云います。その通りでこの人たちは不当な扱いを受けたからではなく、他の人がよい思いをしたので不満を言ったのです。

でもこれは日常的なことです。スーパーで買った物をレジを通してから、タイムセールになって買った物が安くなったなら、何か損をした気分になって、文句のひとつも言いたくなります。しかしそれは天国を生きる者にはふさわしくありません。

問題は契約です。契約はわたしたちの信仰の基本です。最後の晩餐の席で主イエスが、わたしたちの代表である

弟子たちと契約を結ばれました。それによってわたしたちに救いの道が開けたのです。この契約は、決して揺らいだら、わたしたちの救いが崩れます。そう考えると、この世の小さな契約でも、おろそかにはできません。

実は五時から働いた者も、朝から広場に立っていたのです。力が弱いか、体が小さくて、雇ってもらえなかったのです。だから暑い中を、不安と闘いながら一時間も立っていたのです。少しでも働いて、家族の食べ物を買おうと思ったからです。その思いを、主人は受け止めてくれたのです。

「ふさわしい賃金を払おう」と主人は言いました。働きにふさわしい賃金なら、五時からのは朝からの者の二分の一です。だからそういうふさわしさではありません。これは「義なる賃金」という意味です。神の義にふさわしい賃金を払うと言ったのです。神であるわたしにふさわしい賃金を払う。それが一デナリオンだったのです。

この話の最後の言葉は「後にいる者が先になり、先にいた者が後になる」です。これは直前の第十九章の最後の言葉と同じです。そこでは、すべてを捨てて主イエスに従った弟子たちは、イスラエルの支配者になり、永遠の命を受け継ぐと言われます。でも最後に「先にいるあなた方が後になり、後にいる者が先になる」と言われたのです。

天の国は、先の者が後になり、後の者が先になるところです。その先頭におられるのは主イエスです。神の子でありながら最後の者になり、皆に仕える者になってくださいました。だからわたしたちも喜んで最後の者になります。それが天国を生きる者たちの生き方なのです。

《私たちのビジョン》

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《2026年度

教会全体課題》

神さまによって

示された新しい歩みの中で、

キリストの体としての一致を

祈り求める

ーコミュニケーション、交わり、

伝道、学びなどを通してー

《今日のお知らせ》

○ 定例役員会をカナンルームで行います。役員の方はお集まりください。

○ 今年も夏季バイブルスクールを予定しています。ポスターをロビーと事務所に張りしました。日程と内容をご確認の上、どうぞご参加ください。

《ぶどうの会より》

ぶどうの会を第二・三シオンルームで行います。

《ルツの会より》

礼拝後、ルツの会を地下ホールで行います。民数記二六章から学びます。聖書、讃美歌をお持ちの上、ご参加ください。

《祈りの会より》

七月二六日ホール集会終了後一三時一五分頃開始予定で第二、三シオンルームで祈りの会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちいたしております。

《エレベーター工事について》

九月末に予定しておりましたエレベーター制御システムおよび関連部品の更新工事を、下記の日程に前倒しして実施いたします。

現在は仮復旧しておりますが、より安全にご利用いただくため、部材・人員が確保できる最短期間で工事を行います。

期間：二〇二六年八月二四日（月）～三十一日（月）

期間中はエレベーターをご利用いただけません。工程予定表はロビー掲示板に掲載しています。ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇三十六篇】 指揮者によつて。主の僕の詩。

ダビデの詩。

神に逆らう者に罪が語りかけるのが
わたしの心の奥に聞こえる。

彼の前に、神への恐れはない。

自分の目に自分を偽っているから

自分の悪を認めることも

それを憎むこともできない。

彼の口が語ることは悪事、欺き。

決して目覚めようとも、善を行おうともしない。

床の上でも悪事を謀り

常にその身を不正な道に置き

悪を退けようとしない。

主よ、あなたの慈しみは天に

あなたの真実は大空に満ちている。

恵みの御業は神の山々のよう

あなたの裁きは大いなる深淵。

主よ、あなたは人をも獣をも救われる。

神よ、慈しみはいかに貴いことか。

あなたの翼の陰に人の子らは身を寄せ

あなたの家に滴る恵みに潤い

あなたの甘美な流れに渴きを癒す。

命の泉はあなたにあり

あなたの光に、わたしたちは光を見る。

あなたを知る人の上に

慈しみが常にありますように。

心のまつすぐな人の上に

恵みの御業が常にありますように。

神に逆らう者の手が

わたしを追い立てることを許さず

驕る者の足が

わたしに迫ることを許さないでください。

〔司・会〕

悪事を働く者は必ず倒れる。

彼らは打ち倒され再び立ち上がることはない。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「罪を赦す権威ある主」

聖書 ルカ5章17〜25節

説教者 宮間 彰広 兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「神のご支配を信じて生きる」

聖書 マルコ4章35〜41節

説教者 宮間 彰広 兄

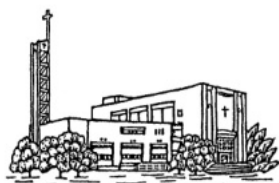
●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 495番 219番

説教 「狭い門から入りなさい」

聖書 マタイ7章13〜29節

説教者 黄允湜 牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 7番 278番
説教 「惑わすものの狙い」
聖書 ルカ4章1～13節(新約 P.107)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「父、子、みたまの一人の神を信ず」J.S.バッハ

○讃美歌7番

1.主のみいつとみさかえとを

こえのかぎりたたえて
またき愛とひくきころ
御座にそなえひれふす

2.ゆだねまつるわが重荷を

主はかわりて負いたもう
なやみおおき世の旅路も
主のいませばやすけし

3.よろこびもて御前にいでん

まずしき身のささぐる
愛とまこと主は嘉みして
みくらちかく召したもう

4.闇をかえてひかりとなす

なぐさめぬしとうとし
のぞみは湧き おそれは消え
み民のさちつきせじ アーメン

○聖歌隊による讃美

「主は歌わせたもう」 M.シャープ作曲
心にひとつメロディー 主が与えられた
恐れることはない 私が共にいる
心の痛みに主が 触れてくださるまで
歌は枯れていた だが私にまた
新たな歌が ほめ歌が響いた
主イエス わが主よ
歌与え導き 共に歩まれる
主の愛の豊かさは 安らぎを与え
御顔のほほえみ 力をくださる
主イエス わが主よ 御名をたたえます
主イエス わが主は
歌与え導き 共に歩まれる
深い水の底にも 険しい道行くときも
共におられる約束
我ら信じ歩もう どこまでも
主イエス わが主よ 御名をたたえます
主イエス わが主よ 行く道を導き
歌を与え 歩ませたまえ

○讃美歌278番

1.わが主の御姿 心にえがきて

知りえぬ真理を 僅にさととりぬ

2.人たり神たる 奇しきわが主は

みむねに背ける 愚かを諭せり

3.この世の知識は 天より洩れくる

光をうつせど 明るさ足わず

4.知りえぬ真理も 御旨とかしこみ

洩れくる光を 明かに仰ぎみん

5.知識も進みて 敬虔ふかかれ

こころの緒琴の 調べも高かれ アーメン

聖餐曲「おお幸いなる光よ、三位一体よ」J.P.スウェーリンク

後奏曲「対位法第1」(フーガの技法より) J.S.バッハ